

【 月 日（ ）】〇〇区 住民主導型自主避難訓練 シナリオ

時刻	ステップ		発信者	→	受信者	通信方法	セリフ原稿
8:00	土砂災害予兆現象発見	①	住民A	→	自治会長	電話	『〇〇地区内の雨量がもうすぐ自主避難基準を超えそうです。今後さらに危険な状況が予想されます。』
		②	自治会長	→	区長	区無線	
8:05	警戒態勢発令	③	区長	→	自治会長	区無線	『〇〇区は大雨により土砂災害や洪水の危険性が高まったため、警戒態勢に入りました。自宅周辺の様子に注意してください。』
		④	自治会長	→	隣組長	電話	
			隣組長	→	各世帯	電話	
8:30	緊急避難開始指示	⑤	区長	→	自治会長	区無線	『〇〇区は雨量が自主避難基準に達し、災害の予兆現象も出始め、土砂災害や洪水の危険性が極めて高くなっています。直ちに緊急避難所など安全な場所に避難してください。』
		⑥	自治会長	→	隣組長	電話	
			隣組長	→	各世帯	電話	
9:00	緊急避難完了連絡	⑦	避難所責任者	→	自治会長	電話	『〇〇地区避難所（避難所名） 〇〇人が無事避難しました。』
		⑧	自治会長	→	区長	区無線	

- (1) 区三役、防災本部正副本部長、避難誘導部正副部長は、7時45分までに「□□」へ集合する。
- (2) 自治会長は、8時00分に自宅にて、無線機を準備し、区長からの無線連絡を待つ。以降、シナリオのとおり。
- (3) 各隣組長は、8時00分に自宅にて、自治会長からの電話連絡を待つ。以降、シナリオのとおり。
- (4) 緊急避難場所の避難所責任者は、8時45分～9時00分の間、現地で待機し、自治会長に電話連絡を行う。

【緊急避難場所責任者】

■ ○○保育園 () ■ □□いきいき交流センター ()

■ ××集会所 ()